



## JTグループのCSRを進化させ、 社会の持続可能な発展への 貢献を目指します

### 求められる社会の持続可能な 発展への貢献

現在、企業を取り巻く情勢は大きく変化しています。グローバル化が進展して企業の社会的影響力が拡大するにつれ、企業の役割に対する国際社会からの期待も高まりを見せており、世界各地における社会的課題の解決に向け、企業の貢献を求める声が大きくなりつつあります。

私たちJTグループは、世界120か国で事業を展開しており、グループで働く社員の国籍は100か国以上に上ります。お客様をはじめ株主、従業員、社会といったステークホルダーからの私たちに対する期待も大きくなっています。JTグループでは、これまでも着実にCSRの取り組みを推進してきたところですが、今後はよりグローバルに、よりの確に社会的課題の解決に貢献していくことが求められています。

### JTグループCSRの進化を目指す

今、企業は、製品の安全性の問題や消費者に対する責任、環境への配慮についてこれまで以上に社会からの期待に応えることが求められるようになりました。また、グループとしての取り組みのみならず、サプライチェーン上において多くの社会的課題が存在しうることを認識し対応することが要求されるようになりました。さらに、人権問題や貧困問題への関心への高まりを受けて、グローバルな視野をもち自らの影響力に応じて社会的責任を果たすことが求められています。

私たちJTグループがこのような社会からの期待に応え、社会的責任を的確に果たすためには、JTグループのCSRを進化させていく必要があります。

そのためにも、ステークホルダーの皆様との対話は欠かせません。社内の発想だけで物事を進めるのではなく、お客様をはじめ株主、従業員、社会と

いったステークホルダーの皆様からの声に謙虚に耳を傾け、その声を取り組みに反映させていくことが重要だと考えています。そして、単に従来の取り組みを繰り返すのではなく、変化に対し、迅速かつ柔軟に対応していくことが求められます。何事にも疑問を持って不断に改善を進め、私たちの取り組みを常に進化させてまいります。

私たちJTグループのこれまでの成長は、取り巻く社会の健全な発展があってこそだと考えています。JTグループが持続的に成長していくためには何より社会の持続可能な発展が必要不可欠です。社会の持続可能な発展に向け、私たちは事業を通じて社会的課題の解決に貢献し、社会的責任を果たしてまいります。

日本たばこ産業株式会社  
代表取締役社長

小泉光臣